

# 有機野菜・無農薬野菜・REFS VEGGIEの野菜について



## ■有機野菜とは

有機野菜とは、種まきまたは植付け前2年以上の間、化学的に合成された肥料及び農薬を避けることを基本として、堆肥等による土づくりを行った畑や田んぼで生産された農作物で、国が認めた登録認定機関によって有機JAS認定を取得した物をいいます。たい肥の原料は、鶏糞、牛糞、馬糞、落ち葉など自然界に存在するものを利用して肥料を作るところから始めます。



## ■減農薬野菜とは

減農薬野菜は、栽培される当該地域の慣行農業(従来どおり農薬を使用する農業)と比べ、使う農薬をおおむね5割以上減らして栽培された野菜のことを指します。一般的に、慣行農業では作物によりますが10回~50回程度の農薬や除草剤散布が行われます。「去年50回だったのを今年は25回に減らしました」と言っても「減農薬野菜」となります。また、第三者機関による検査がある「有機野菜」と違い、信頼できるかどうかは生産者・流通業者次第となります。

## ■無農薬野菜とは

無農薬野菜は栽培期間中に農薬を使わずに栽培された農産物のことを言います。去年の農産物は農薬を散布され、土に農薬が残っている状態や、化学肥料が残っている状態でも、今年無農薬で作れば、それは無農薬野菜として売り出されます。

## ■有機野菜の特徴

有機野菜の特徴は、土が汚染されていない状態で育てられた野菜ということです。土が汚染されていなければ、微生物が土のサイクルを作り、結果的に良い野菜を作り出します。土が死んでいれば、そこに栄養はなくなってしまうから、栄養素として化学肥料を使い、それでは弱い野菜になってしまうため、農薬で守るわけです。悪循環が続いてしまう部分を、根本から見直したものが有機野菜ということになります。有機JAS認定の規定では天然由来の農薬や土壌改良剤の使用は認められているので、農薬をまったく使わないということではありません。そして有機JASを取得したからイコール品質の高い野菜というわけではありません。同じ有機野菜でも農家の経験や技術力の違いによって味や栄養価、安全性に大きな差が出てきます。むしろ、農薬や化学肥料に頼らない有機野菜は、作る人の技量による差が通常の野菜以上に現れます。例えば、有機質の肥料だからといって大量に与えすぎると、作物の体が軟弱になって、虫や病気がつきやすくなったり、人体に有害だと指摘される硝酸態窒素が作物に過剰に残留してしまう可能性があります。

## ■REFS VEGGIEの特徴

REFS VEGGIEの契約農家で作られる野菜は、有機野菜とは言えません。なぜならば、国で定められた有機JAS認定を取得していないからです。認定をとらない理由として、少量多品種で栽培する生産者は、細かいデータ記録、そして多額の申請量を支払い認定をとることにメリットを見出さなかったためです。有機野菜と言いますが、農薬・化学肥料無使用を前提といたします。REFS VEGGIEは、野菜作り、土作りに主義主張を持つ考えをもった生産者のみの生産物を取り扱います。その契約農家はベテランから若手までおり、土地は、農薬・化学肥料無使用をはじめて1年~30年の土地と幅広くあります。そして化学肥料や農薬で汚染されていない「健康な土」作りに努めています。土の健康を支えているのは微生物や細菌類、ミミズなどの様々な生き物。そんな、生命力一杯の土で育つ野菜は健康そのもの。「昔の野菜の味がする」と言われ、野菜が持つ本来の美味しさに満ちています。見た目はよくないものもあります。ですがしっかりと個性を持っています。

